

# 「2008 年度日本 OSS 貢献者賞」

## 募集要領

2008 年 8 月 8 日  
独立行政法人 情報処理推進機構  
日本 OSS 推進フォーラム

## 1. 概要

独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) では、オープンソフトウェア・センターを中心に、オープンソースソフトウェア (以下、OSS という) の利用促進のための様々な課題解決に取り組んでいます。その中で、日本において OSS 開発者や OSS コミュニティで活躍する人材を育てていくことが重要であるとの認識を持ち、外部の有識者の参加を得て、その施策等について様々な検討を重ねているところです。

今般、昨年に引き続き「2008 年度日本 OSS 貢献者賞」を実施することになりました。「日本 OSS 貢献者賞」は、2005 年度に日本 OSS 推進フォーラム(\*1)と独立行政法人 情報処理推進機構によって創設された賞であり、日本における OSS 開発の振興を図ることを目的に、影響力のある開発プロジェクトを創造、運営した開発者やグローバルプロジェクトにおいて活躍する卓越した開発者及び普及に貢献した方を表彰するものです。本募集要領により、2008 年度 OSS 貢献者賞の表彰対象の候補となる方を募集いたします。

主催 : 独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)  
共催 : 日本 OSS 推進フォーラム

## 2. 募集要領

### 2.1 対象者

#### A. OSS 開発分野

世界・日本における OSS プロジェクトにおいて中心的な役割を果たしている開発者を対象とします。開発基盤や OS・ミドルウェア、アプリケーション、デスクトップ、サーバ、組み込み分野など幅広い分野の中で活躍する OSS 開発者が対象です。

#### B. OSS 普及促進分野

OSS の発展・普及に大きく貢献した方、OSS コミュニティやマーケットに大きな影響を与えた方を対象とします。コミュニティの形成、OSS の認知、ドキュメンテーション、人材育成、標準化などに大きく貢献された方が対象です。

※ 但し、両分野ともに、現在も日本で活動を継続している方を対象とします。

### 2.2 募集期間

2008 年 8 月 8 日(金)から 9 月 12 日(金)までに受け付けいたします。

### 2.3 候補者の推薦方法

自薦、他薦を問わずどなたでも応募できます。

※他薦の場合は本人の同意を得てください。ただし本人に直接同意が得られない場合は、公開されている範囲の情報を推薦書に記入して応募してください。本人には IPA が同意を得ます。

詳しくは、「5.推薦書記載内容」を参照してください。

## 3. 審査概要

### 3.1 審査方法

審査は、産・学におけるメンバーで構成された審査委員会(\*2)が行います。

### 3.2 審査基準

候補者が OSS の発展に寄与したことを審査するために、次の 4 つの審査項目を重視します。

#### ① 参画する OSS プロジェクトの規模・普及度

世界あるいは日本において多数の開発者・利用者が存在すること。

ディストリビューションに標準的に採用されていたり、開発コミュニティが活発であること。

- ② 参画する OSS プロジェクトにおける候補者の役割と責任の大きさ  
参画する OSS プロジェクトを主導したり、重要な役割を担っていること。
- ③ 候補者個人の OSS 普及に対する貢献度  
普及活動とは OSS 普及団体や標準化団体等における活動を指し、その普及活動を主導したり、大きく貢献していること。
- ④ 候補者個人の OSS コミュニティに対する貢献度  
参画する OSS プロジェクトの活動を超え、日本あるいは世界の OSS コミュニティに対して貢献を行っていること。

また、以下の項目は審査においてプラス要素として考慮します。

●新規性

新しい情報技術を取り入れた OSS であること、あるいは OSS 分野において初めて実用化あるいは普及した OSS であること。

●市場への波及効果

参画するプロジェクト・活動が、OSS ビジネス市場において広く利用され、ビジネス上の重要な要素となっていること。

### 3.3 スケジュール

8月8日(金)	推薦の受付を開始
9月12日(金)	推薦の締め切り
10月上旬	受賞者への通知
10月28日(火)	IPA フォーラム 2008 で表彰式

### 3.4 審査に必要な資料請求等

審査の過程において、確認、連絡すべき事項が発生した際には、事務局より推薦者にご協力いただくことがありますのでご了承ください。

## 4. 公表・表彰等

### 4.1 公表

審査の結果選ばれた受賞者については、IPA フォーラム 2007 で表彰式を行い、その後、IPA の Web ページに掲載します。

過去の受賞者は、次の URL をご覧ください。

2005 年度 <http://www.ipa.go.jp/about/press/20050823.html>

2006 年度 <http://www.ipa.go.jp/about/press/20061010-2.html>

2007 年度 <http://www.ipa.go.jp/about/press/20071012.html>

### 4.2 表彰等

受賞者には盾の授与を行います。

## 5. 推薦書記載内容

### 5.1 記載事項

#### 【受賞候補者についての項目】

- 1 候補者 氏名※
- 2 候補者メールアドレス
- 3 対象分野
- 4 プロジェクトや活動の概要※
- 5 プロジェクトや活動の URL※
- 6 推薦理由※

#### 【推薦者についての項目】

- 1 推薦者氏名※
- 2 推薦者メールアドレス※
- 3 推薦者電話番号
- 4 推薦者所属団体名
- 5 連絡事項

※は必須項目です。

### 5.2 応募方法

OSS iPedia または、電子メールで応募してください。

#### (1) OSS iPedia からの応募

1. OSS iPedia にアクセスしてください。  
URL:<http://ossipedia.ipa.go.jp/>
2. ホーム>インフォメーションの「2008 年度日本 OSS 貢献者賞推薦書」をクリックして、推薦書を表示してください。
3. 推薦書画面が表示されましたら、上記の記載事項を入力してください。
4. 記載事項を入力後、推薦書画面の最後の「入力確認」ボタンをクリックし、入力内容の確認を行ってください。
5. 内容に変更がなければ、「送信」ボタンをクリックして終了です。  
送信したデータは後から確認することが出来ませんので、入力確認を行ってから送信してください。

#### (2) 電子メールでの応募

所定の「2008 年度日本 OSS 貢献者賞 推薦書」を IPA の Web ページ (<http://www.ipa.go.jp/software/open/ossce/2008/contribute/ossaward2008.html>) より、ダウンロードし、必要事項を記入の上、E-Mail に添付して応募してください。

E-Mail 送付先アドレス:[oss-award2008@ipa.go.jp](mailto:oss-award2008@ipa.go.jp)

#### (注意)

応募情報の取り扱いに関しては、IPA の「プライバシーポリシー」に基づき、適切な管理を行います。「プライバシーポリシー」は <http://www.ipa.go.jp/about/privacypolicy/index.html> をご覧ください。

#### ■本件に関するお問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 オープンソフトウェア・センター 企画グループ 保坂／大内  
Tel: 03-5978-7507 Fax:03-5978-7517 E-mail: [oss-award2008@ipa.go.jp](mailto:oss-award2008@ipa.go.jp)

\* 1 日本 OSS 推進フォーラムについて

国内情報システムのベンダ、ユーザ、学識関係者などが参加し、OSS 活用上の課題について、自由な立場から議論を重ねながら、課題解決に向けて取り組んでいます。活動は課題ごとに部会を設置して実施しています。独立行政法人 情報処理推進機構（理事長：西垣 浩司）が事務局を務めています。日本 OSS 推進フォーラム→ <http://www.ipa.go.jp/software/open/forum/>

\* 2 審査委員会

	氏名	所属
委員長	相磯 秀夫	東京工科大学 理事
委員	上田 理	ソニー株式会社(CE Linux Forum)
委員	大谷 真	湘南工科大学教授
委員	小山 哲志	(2007 年度日本 OSS 貢献者賞受賞者)
委員	鈴木 友峰	株式会社 日立製作所(日本 OSS 推進フォーラム)
委員	平林 俊一	富士通株式会社(Wide Studio の開発者) (2006 年度日本 OSS 貢献者賞受賞者)
委員	まつもと ゆきひろ	株式会社ネットワーク応用通信研究所(Ruby 開発者) (2005 年度日本 OSS 貢献者賞受賞者)
委員	吉藤 英明	慶應義塾大学講師(USAGI Project) (2006 年度日本 OSS 貢献者賞受賞者)

(敬称略 50 音順)